

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	田尻地域福祉事業所 という		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員数が充実しており、こども一人ひとりに目が行き届いた丁寧な支援が行えている。	職員間で情報共有を密に行い、こどもの特性や日々の変化に応じた支援方法を統一している。	研修や会議を通して職員の専門性向上を図り、より質の高い支援につなげていく。
2	子どもたちが楽しみながら参加できる多様な活動を実施し、成長や達成感を得られる機会を提供している。	年齢や発達段階に応じて活動内容を工夫し、無理なく参加できる環境づくりを行っている。	子どもや保護者の声を取り入れながら、活動内容の見直しや新しい取り組みを検討していく。
3	子ども自身の気持ちや意見を大切にし、主体性を育てる支援を行っている。	日々の関わりの中で子どもの声に耳を傾け、活動や支援内容に反映するよう努めている。	子どもが自分の考えを伝えやすい環境づくりを進め、自己肯定感の向上につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域イベントへの参加が少なく、事業所の取り組みを地域へ発信する機会が十分ではない。	日々の支援事業を優先する中で、地域との連携や外部活動に十分な時間を確保することが難しい状況がある。	地域行事や関係機関との情報共有を進め、無理のない範囲で地域との交流機会を増やして行く。
2	職員研修について、内容や回数面で十分とは言えず、体系的な学びの機会が限られている。	業務の忙しさから研修計画の見直しや外部研修への参加が十分に行えていないことが原因となっている。	計画的に研修の機会を設け、内部研修や外部研修を活用しながら職員の専門性の向上を図っていく。
3	日々の支援や取り組みは行っているものの、その内容や成果を文書として十分に整理・可視化できていない	記録や振り返りの時間確保が難しく、情報の整理や共有が後回しになっていることが要因。	記録方法や共有の仕組みを見直し、支援内容や成果をわかりやすく整理・共有できる体制を整えていく。